

静岡県高等学校体育連盟主催大会の実施のためのガイドライン（追記）

令和2年 5月27日策定
令和2年 8月26日改訂
令和2年 11月18日追記

高体連主催大会において、実施時の感染防止策を十分講じた上で実施することとする。特に「三つの密」を回避するための対策を各大会、競技ごとに設定して行う。

◎大会開催・実施時の具体的な感染防止策について

【大会参加生徒・大会関係者共通】

- 1 下記の手順で手続きを行い、大会に参加する。
 - (1) 大会参加生徒は大会当日、大会参加同意書（別紙1）を顧問に提出。
 - (2) 顧問・大会参加生徒は、各学校で毎日の健康調査等を行い、大会前2週間の健康状態を把握し、健康調査一覧票（別紙2）を専門部に提出。
 - (3) 大会関係者は大会当日に健康調査票（別紙3）を専門部に提出。
 - (4) 大会当日の体温が37.5度以上など体調のすぐれない場合は参加を自粛する。
 - (5) 大会前2週間の健康調査の項目に問題のある生徒は参加を自粛する。ただし、発熱等の症状がなくなり、新型コロナウイルス感染の疑いがない場合はこの限りではない。
- 2 会場内ではマスクを着用する。（試合時を除く。）
- 3 こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。消毒液等は、可能な限り参加校、個人で準備する。
- 4 他の参加者・指導者・大会関係者との距離（できるだけ2m以上）を確保する。
- 5 大声での声援や会話を控える。
- 6 ごみの持ち帰りを徹底する。
- 7 大会後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

【大会参加生徒】

- 1 大会・試合の前後のミーティングは、三つの密を避ける。会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する。
- 2 更衣室・控室等では、他の参加者と密になることを避ける。または一度に入室する参加者の数を制限する。
- 3 スポーツドリンク等の飲料については、ボトルを共用しない。ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップを使用する。
- 4 感染防止のために各専門部で決めたその他の措置を遵守し、指示に従う。

【大会関係者】

- 1 会場内の設備（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、定期的に消毒する。
- 2 室内で実施する場合には、密閉空間とならないよう、定期的に窓を開け十分な換気を行う。
- 3 使用会場の感染対策に関するガイドラインや利用規約等に沿った運営を行う。
- 4 使用後、利用施設等の清掃、消毒等を行う。

【専門部追加対策】参考資料や各競技ガイドライン等から必要な対策を追加する。

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

◎ ふじのくに基準に応じた大会実施判断

基準	大会実施について
レベル6	大会を中止または延期。
レベル5	原則大会を中止または延期。
レベル4	新しい生活様式を徹底し大会開催。大会実施のためのガイドラインを遵守。原則無観客での実施とし、行動制限を踏まえた対策を十分にとって実施。
レベル3	新しい生活様式の中で大会開催。大会実施のためのガイドラインを遵守。
レベル2	通常の大会開催。
レベル1	

*警戒レベル4以上の状況では、専門部判断による中止もありうる。

*『ふじのくに基準』の警戒レベルごとの行動制限を改めて確認した上で、大会実施は慎重に判断すること。県内移動に関する行動制限が外出自粛や外出禁止を要請の場合は、大会を中止または延期する。

(令和2年11月18日追記)

別紙 1

大会参加同意書

令和 年 月 日

下記の健康調査を確認の上、大会に参加することを同意いたします。

() 高等学校 学年 () 年
生徒氏名 () 保護者氏名 () 印)

当日の体温 (.) 度

○大会前 2 週間における以下の項目にお答えください。どちらかに○を

ア	平熱を超える発熱が数日続く	ある	なし
イ	咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状が数日続く	ある	なし
ウ	だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）	ある	なし
エ	嗅覚や味覚の異常等	ある	なし
オ	新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無	ある	なし
カ	同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合	ある	なし
キ	過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無	ある	なし

別紙2

健康調査一覧票（ 顧問 ・ 大会参加生徒用 ）

学校名				TEL	
顧問名				TEL	
大会日	令和	年	月	日 ()	大会会場

○大会前2週間における以下の事項の有無の確認
（ 有の場合○、無の場合×を記入 ）

NO	顧問/学年	氏 名	当日の体温	発熱	風邪の 症状	だるさ 息苦しさ	嗅覚 味覚異常	感染者との 濃厚接触	同居・知人 の感染者	渡航歴等
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										

保管期間 1 か月

別紙 3

健康調査票

令和 年 月 日

氏 名 () 年 齢 () 歳

住 所 ()

電話番号 () 当日の体温 (.) 度

○大会前 2 週間における以下の項目にお答えください。どちらかに○を

- | | | | |
|---|---|----|----|
| ア | 平熱を超える発熱が数日続く | ある | なし |
| イ | 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状が数日続く | ある | なし |
| ウ | だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難） | ある | なし |
| エ | 嗅覚や味覚の異常等 | ある | なし |
| オ | 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無 | ある | なし |
| カ | 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合 | ある | なし |
| キ | 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無 | ある | なし |

※ この調査に関する個人情報については、感染対策のものであり、他の目的では使用いたしません。保管期間は 1 か月とする。

生徒の健康・安全に配慮した開催方法について

- ・各競技の特性を十分に考慮し、感染予防を行う。
- ・以下の例を参考に各専門部で対策方法を作成する。

【予防対策 例】

1 観客の減員

無観客試合や保護者のみの入場にするなどして会場内の人数を制限する。
ビデオ等による記録や中継に必要な最小限の人数は可とするなど。

2 大声での指示や応援禁止

スタンドからの部員・保護者の応援を禁止する。

3 握手・ハイタッチの禁止

試合前後の握手やチーム内の選手同士のハイタッチを禁止する。

4 ボトル等の共有禁止

選手個別の水筒やボトルを使用する。

5 移動の制限

公共交通機関を極力避け、保護者の送迎を基本とする。(最小限の乗合は可)
貸し切りバスは同一部活動の生徒でかつ、間隔を取ることを条件に可。

6 検温の徹底

自宅を出る際に検温し、高熱などの強い症状がある場合は来場を自粛する。
また、会場で検温し、高熱などの強い症状がある場合は直ちに帰宅する。

7 マスクの着用

選手は競技時以外、顧問や大会役員等は、常にマスクを着用する。ただし、
熱中症に気を付け可能な限り着用する。

8 会場滞在時間の短縮

集合から解散までの時間を短縮するなどして、選手が会場に滞在する時間を短縮する。また、顧問の打合せ等を短縮又は省略したり、審判の割り振りを工夫したりすることで顧問や大会役員の滞在時間の短縮も図る。

9 更衣室の利用制限

チームごとの時間を指定する。更衣のみの目的での利用とし、ミーティングは不可とする。

10 選手、スタッフ同士や大会役員の距離の確保

ベンチや本部席等の椅子の間隔をあける。

11 同じ空間内の人数の制限

1会場で多くの試合を同時に行う場合、出場人数や試合数を減らすなどの工夫をする。

12 屋内施設の定期的な換気

屋内施設を利用する場合は、試合時間をコントロールし、試合の合間に換気を行う。

13 用具の消毒

試合ごと可能な限り用具を消毒する。消毒液がなければ濡れたタオルで拭くなどの対応をする。ボール等は複数使用し、試合間に拭きながら行う。

14 会場の消毒

会場のトイレや入り口のドア等を定期的に消毒する。

15 定期的な手洗い時間の確保

試合中に手洗いや手指消毒をするための時間を確保するため、ハーフタイムを延長するなどルールを工夫する。

16 補助役員の減員

試合運営を最少人数で行う。生徒を活用する場合は交代制で行う。